



追京七百五十韻二百五十句

俳諧次韻

江戸
桃青





霞亭文庫

早稲田大学
文学部図書

個人研究費
暉峻康隆
48-5342

表題

晋伯倫傳酒德頌

樂夫繼以酒功讚

青醉之續信德七

百五十韻二百五十句

換抄と交てハ侍心花あはれ
又うらひのそ乃春もわろく

桃青

物^{キレハキ}は是^{キレハキ}雉^{キレハキ}脛^{キレハキ}もく^{キレハキ}繼^{キレハキ}は^{キレハキ}多^{キレハキ}

這^コ一^コ句^コ以^テ莊^テ子^ヲ可^シ見^ツ矣^ヲ其^コ角^コ

禪^コ骨^コの力^コあり^コみ^コ成^コす^コよ^コ才^コ九^コ

志^コく^コく^コ風^コの^コお^コも^コあ^コり^コな^コ揚^コ水^コ

多^コく^コ事^コを^コ解^{イヒキ}を^コ沈^コむ^コ邪^コに^コ角^コ

灯^コ心^コう^コら^コり^コと^コ縁^コは^コり^コ月^コ青^コ

微雨^{コサメ}の麻^マのまはるる
 雲^{クモ}の裊^{ニウ}の糸^{イト}の糸^{イト}
 雀^{スズメ}の眉^{メジロ}の糸^{イト}の糸^{イト}
 悲^{サイ}の春^{ハル}の角^{ツノ}の角^{ツノ}
 風^{カゼ}の心^{ココロ}の糸^{イト}の糸^{イト}
 先^マの祖^ソの糸^{イト}の糸^{イト}
 灯^{トウ}の心^{ココロ}の糸^{イト}の糸^{イト}
 古^コの糸^{イト}の糸^{イト}の糸^{イト}

水 丸 青 角 水 角 青 水 角 青

武士^{ムシ}の双^{フタ}の糸^{イト}の糸^{イト}
 女^メの糸^{イト}の糸^{イト}の糸^{イト}
 様^{サマ}の糸^{イト}の糸^{イト}の糸^{イト}
 心^{ココロ}の糸^{イト}の糸^{イト}の糸^{イト}
 糸^{イト}の糸^{イト}の糸^{イト}の糸^{イト}
 乳^ウの糸^{イト}の糸^{イト}の糸^{イト}
 春^{ハル}の糸^{イト}の糸^{イト}の糸^{イト}
 白^{シロ}の糸^{イト}の糸^{イト}の糸^{イト}

水 丸 青 角 水 丸 青 水 角 青

名
 寛平のちん御成合あり
 侍士批^チ火^{スリ}を^ル枕^ニて^シ寝^ス
 ともありける女房の色^ニ交^ル
 血^チ指^{スリ}の^ニ糸^ヲに^テ糸^ヲや^ル思^フらん
 別^ニ好^ムあ^リじ^ク病^ヲ起^スこと^トい^フ
 獄^{ヒトヤノカミ}囚^ニ正^モも^知ら^ズり^シぞ
 天^{テイ}帝^ノの^ニ月^ヲ安^クと^申て^申す^レあ^け
 桂^ヲも^地つ^て星^ヲ移^スと^桂
 青 角 水 丸 角 青 丸 水 青 角

雨の接^タ子^コ風^ノの^ニ白^ク吹^クる^レ冷^クう^め
 秋^ニめ^テ射^スして^ハ赤^ク帯^ノ裳^ノの^記
 白^{シロキ}親^ニに^テ紅^ク奈^ヲ打^ツめ^テ送^ル聲^{ムコラ}
 漁^{イガリ}乃^リ火^ホ影^ヲ網^トと^{射^{ユミ}井^井}
 師^シ魚^{イサ}の^ニ謀^{イサ}り^シ纒^ハ胸^ヲを^{割^{サカ}ル}る^ル
 安^アき^ク乃^リ所^ニ流^ルる^レ人^ヲを^{流^リス}
 向^ウふ^レし^{キヤウ}し^{トク}徳^ヲ寺^ノ乃^リ晚^{イリ}鐘^ヲを^{鳴^マル}
 袴^ヲ打^ツめ^テ御^ヲ言^フれ^ル魂^{タマ}身^ヲ乃^リ魄^{タマ}
 青 角 水 丸 角 青 丸 水 青 角

五人の被りぬるものぎらぬ
雨とくひのうき風うつり
夕言及鳥ぬ煙を吐思ひ
民屋あらしく服をせりし
笑の味恋草れおの味
あまのあまのあまの女
月えんる雄うも白梅
と女れと文を纏る末
青角水丸青角水丸

脱ヌキ糸ヌキ糸ヌキ糸ヌキ糸ヌキ糸ヌキ
乾タ柿タ子タ。とタ。とタ。とタ。とタ。とタ。
花ハ子ハ照ハるハ太オハ神ハライ宮イハコのハ持ハし
幣ヘのヘ葉ヘ似ヘるヘ説コトツケ乃コトツケるコトツケ
青角水丸青角水丸

春澄子と人指真子とあり

五文

其角

春澄子と人指真子とあり

〜〜〜 け 秋多と 藤元と 才丸

月引連ツキヒめ坐マ鳥帽子トリカをかかると 揚水

無め酒利ムメサケを 打ちと け 桃青

おのおのとさとさ川川流流るる丸丸葉葉と 丸

卑イヤシ山サ路カめ 續ツと 包ツきる 角

夕もゆる園をのぞきようくれ事を
夜盗れ風乃音さ お園ウり
雨の園めすけて敵と討せしる
舞臺の葉の蒼きほり戸
とちやたるる氣より世を驚
犬切つてもあつりの所
袖のぬれを雪の炉に根付温アタムれ
あししららら 帳の紙室ムロ
青 水 丸 角 青 水 丸 角 青

女の影海をとらしてはさく
その荒氣のちりまき洞ホと
ストント。茶入のあつた令オも
とりあつた狂まの侍る月
秋の末つらうの燈機世と
とゆり侍りしあ
為乃院乃御陵ミサキをまゝ
免劔カ舎入ちもめ路のり
子丑乃番と宣められし
青 水 丸 角 青 水 丸 角

渾沌翠ふゆふゆふゆふゆふゆふ
乾咲去々心馬麻々此山
予のふゆふゆふゆふゆふゆふ
吉原のふゆふゆふゆふゆふゆふ
捧軍勇やうふゆふゆふゆふゆふ
つまごうふゆふゆふゆふゆふゆふ
富の金を徳明王乃ちゆふゆふゆふ
摩訶古唐の苦奈国をゆふゆふゆふ

角丸 青氷 丸 角 丸 青 氷 丸 角

愛ヲ於子ヲ於毗盧遮阿毗羅味
花とるる風をゆふゆふ吹
夜の食々々々々々々々々々々々
刺乃者々々々々々々々々々々々々
月の秋々々々々々々々々々々々々々
家のふゆふゆふゆふゆふゆふ
ありのててててててててててて
給と酒ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

青 水 丸 角 青 水 丸 角

小神くはあ杖の帯さるんて
納た乃神をモノイミ齋一祭
燦掃之礼ハクノ用ユ於ニ鯨之肺ホシラ
やとひの海齒条刈よ入
凡るく牛さく氷さくしるふ
芒をよるの枯果とくく
慄フシと白骨のく付てある
曾呂利新話と後めあはし
青 水 丸 青 水 丸 青 水 丸 青

禪少僧とくゆよ月の待ラ刻ム
雷スリバチ盆バチつて芭蕉めら風
花のと野驛エキの羊代ヒあ切るて
樓ミよわくちとつる次比春
み帯ムスコよひ息ムスコあらごの雪と掃ハク
箕ミとよそくく雀ハクくん
風乃わししの枝め暮ニ下ル
ひまろ嫁をぶいてくやろり
青 水 丸 青 水 丸 青 水 丸 青

悲ひかひ人の地蔵よそのめし
ムクケ 木槿の中解ボケと木瓜クキヒル乃唇
ホウツキ 細履の鬼灯の灯籠也
 ちとり物を衣の裾めより皮
 酒の月か伽坊と此方ぞくも
カウホヨ 志業流しや。奥乃泉水
 河骨のなまよゆきまのやまの
 わしし〜の〜えて蛇見と化ナリ
 角 丸 青 丸 角 丸 青 丸 角 青

筑地ある板の底め車川止め 青
アメホ、ヤミ 天火と闇の金堀の尊 水
ミウ 岬江の磯等岸等ハ白波り 角
 青海苔〜〜い鱗琴と弾ヒラ 丸
 花の山々を芝の旅白ナクサムを貰る 水
トウヤ子 月よ秋と〜東金乃僧 青
 湖〜を喬変よあテハ豆懐 丸
 夕刻き〜食身かひ〜る 角

挑乃来子輝^ニつ^ルは^ハい^ハか^クよ^ク夜^ニ青
枕^ノ清^クの^ク香^ク蕩^ク散^ク心^ニ水
夏^ニれ^ル為^シと^シ何^レと^シ結^スめ^ルこ^トあ^リて^ル角
我^レ聞^ク。俗^ノを^シ口^ニめ^キこ^トあ^リて^ル丸
生^ケづ^クと^シ疏^ケ打^クれ^ルめ^ル念^ノ無^ク量^ノ水
泥^ノ坊^ノ清^クて^ル雨^ノの^ク火^ニを^シ一^ニ青
草^乃奥^下書^クり^テ原^めく^レれ^り丸
狄^忠里^ノの^ク足^ニを^シ一^ニ細^ク角

配^テ亦^テ人^ノ其^ノ小^道布^とテ^テ一^ニ青
あ^リく^レ光^乃乃^茵幸^際と^枕と^あ角
心^地も^む細^め汗^を流^せて^あ私^角
や^れる^尾の^を秋^を知^り一^ニ老^丸
麥^見の^光を^覚り^り水^丸
初^使茅^のの^終は^蕪房^青
秋^と啼^鳥の^音と^連に^せ丸
ま^やき^のの^乃乃^地と^まさ^る角

上

けの國の生田れ敷の初月萩 埃余如
乃こぬしけめえ 倉^{カク} 埃^チ 水
霜^{フキ}下て文のり里の 糶^{カユ} 肥^{ツカ} 角
さくの地豆れ声。ありさ 埃^チ
よひぬき 糶^{カク} も 臺^{ダイ} の 考^{コウ} と 位^イ
周^{タトニ} 炭^{タン} 荷^カ つて 少^シ ね^ネ め^メ 御^ミ じ
^{ウスホ} 勝^{カチ} も ぞ 洗^シ り 跡^{アト} の 法^{ホウ} の 新^{シン} 進^{シン} の
岩^{イハ} こ^コ う^ウ くれ^レ も 牛^{ウシ} 毛^{モウ} 一^{イツ} 毛^{モウ}
丸 角 青 丸 角 水

竹のさと人あり 女^メ の 痛^{イタ} を 治^ナ 水
赤^{アカ} と つ^ツ つ^ツ せ^セ め^メ 恨^{ウラミ} と 養^{ヤウ} へ^ヘ
洞^{ドウ} の^ノ 水^{スイ} は^ハ ん^ン じ^ジ と^ト 心^{シン} を^ヲ 治^ナ 丸
千^チ と^ト せ^セ を^ヲ 治^ナ 水^{スイ} の^ノ 埃^チ 角
葉^{エフ} 付^{ツキ} して^{シテ} 寸^{スン} 龍^{リウ} 花^カ の^ノ 中^{ナカ} じ^ジ と 青
如^ニ 泉^{セン} 法師^{ホウシ} の^ノ 春^{ハル} 力^{チカラ} あり 水

才九

世めありてあまの秋に聖中
 詠 孟 月 ぬ の け ち せ ち 買^{カウ} 揚 水
 と 名 と も 若 子 の 菊 ぬ ら ち 粘 て 桃 青
 結 ぶ び 寸 寸 と 海 龍 衝 け 其 角
 雪 け ぬ 雲^{ニリ} 乃 ぬ と ぬ ら ぬ 水
 蘇 珠 の 亭^チ ぬ 題 ち 授^{ニラク} 子 丸

藥ラウやうと隠れて風流林フウリウリンとよぶ
 橘ウ子羽織ウをさそとやてあつさし
 姦ウふのや女房ウのせつては付を
 高ウあつさつさる中ウ手付り
 音ウ文ウて枝ウの板ウをささくら散ウス
 折ウゆく宿ウ子冬ウまうむ犬
 髪ウ結ウの白ウくく庭ウの草ウさつ
 幸ウ都ウ波ウ安ウの男ウゆるウ烟ウる
 丸 角 青 水 丸 角 青 水 丸 角

骨コツ刀コツ土コツ為コツ浮コツ乃コツり海コツきあり
 瘦コツくらふるれ新コツの鞭コツうら
 肉コツの癖コツても心コツをまのコツ罽コツ旅コツ
 米コツとぐ音コツの耳コツもあなり
 ぬもコツうコツびコツてコツ筆コツ子コツおコツくコツ秋コツは
 無コツ錢コツ居コツ士コツとくコツ新コツ休コツき月
 筆コツ耕コツ青コツ磁コツの牛コツあコツむコツ付コツあ
 蒸コツ茶コツ水コツ乃コツ流コツまコツくコツむコツん
 丸 水 角 青 水 丸 青 水 丸 角

后宮のやぶ入車やとりあ
 祓^クしや上^クりしゆみ流の様
 際^クるきこけて夜の雪^音諧のゆ^音
 挑灯切つてまのうけろい
 風^音あれ角肉と男を悟り
 へ^ル乃^クりづ^クも 根^クり^クら^クま
 雷^{ライ}の奔^{バチ}下^クこ^クて音^音は^音め
 舌^{フカク}又^ク玄^ク一^ク龍^クの^ク国^ク
 角 青 水 凡 青 角 丸

俗乃のつ^ク麻^ク絲^クの^ク海^クの^ク底^クあ^クあ
 朝^{アサ}の^ク白^クの^ク東^ク ち^ク地^ク赤^{アカ} 螺^{ニシ}
 何^クと^クそ^クえ^ク 蛤^クの^ク寐^クて^ク多^クん
 ひ^クそ^クろ^クく^クと^ク雨^ク簪^クと^クら^クあ
 月^クを^ク身^ク夕^ク辛^クれ^ク茶^クの^ク斤^ク朝^ク端^ク
 粟^ク刈^クあ^クく^ク周^ク子^クテ^クは^クは
 高^ク鷲^クの^ク羽^クう^クの^ク殻^{ヒヨク}ひ^クい^ク
 水^クを^ク起^クく^ク 帚^ク 帚^クあ^クる
 角 青 水 丸 青 水 角 水 丸

釜かづる人白悪ひてあるあり 角
 抱と子めづくまゆろくれ君 青
 古家乃泣^ナおろし闇めくおれを 丸
 いとら乃壳^ホ倉^{コウ}風の草めふ 水
 麻の染め生^イる小紬と打交^ヒ毎 青
 うの枝ふはぬる生^オ乃浦柳子 角
 まつるあそくは清き溝と百月小 水
 明るや藤市彦とくけ波は高 丸

昼爰れ食くく物みたくくも 角
 人死^シを待て生^ナる心は静し 青
 石^イカ^カ回^ワむの目お交^マひりり 丸
 あむあう帆で風と舞^マ舞^マ梯 水
 飛^ヒ雨^ウ臺^{タイ}ノ跡ハ霞ニ空^ウシキゾ 青
 野馬ノ進^スニザル林キラくし 角
 火指のま歩^フ跡の園のくぬり 水
 雪のりく結^ムめ文付^ムくやふ 丸

裏へや火桶の姫乃勝ウラすき角
 有傳一彦めかへん川つる青
 ちやくと森入のくくくくく丸
 通り波首乃流くくくくく水
 迷ひくくくくく原の月うけ堰青
 横雲別くくくくく神ひくくくくく角
 くくくくく村風と戸ひくくくくく水
 やくくくくく藤洞くくくくく丸

秋の素殿切草とあたるほど角
 位おゆるくくくくく葉の片青
 面白く素。曲を物ひくくくくく在
 海老ちくくくくく海苔れ青衣キヌ水
 急流の松くくくくく心タイ色青
 突世めウラのくくくくく雪乃明神角
 ト同くくくくく物ウラの志くくくくく水
 地乃氣ウラきくくくくく草ウラ流煩丸

昔^{ナカ}御^ミの皇居^{ミヤ}の御^ミの紙帳^{シヤウ}の^ハ角
 法^{ツカサ}水の司^{ツカサ}を^ミと 糝^{コナカ} 青
 白^{ヒシホ}も^ミあるは^ミは^ミ色^{ヒシホ}の^ミ丸
 老^{ツイラ}厄^{ツイラ}の^ミ叙^{ツイラ}あり^ミり^ミ
 表^{ツカハ}餘^{ツカハ}の^ミ於^{ツカハ}子^{ツカハ}じ^{ツカハ}り^{ツカハ}ひ^{ツカハ}の^{ツカハ}丸^{ツカハ}
 外^{トサト}室^{トサト}の^ミ麻^{スシ}の^ミ襦^{スシ}の^ミ丸^{スシ}
 栞^{スシ}の^ミ楢^{スシ}の^ミ丸^{スシ}
 栗^{スシ}の^ミ楢^{スシ}の^ミ丸^{スシ}の^ミい^{スシ}が^{スシ}丸

名

備^ト室^トの^ミ莖^{ミヤキ}の^ミ青^{ミヤキ}と^ミ志^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}角
 多^{ミヤキ}袋^{ミヤキ}の^ミ次^{ミヤキ}の^ミ御^{ミヤキ}の^ミ風^{ミヤキ}を^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ青^{ミヤキ}
 扇^{ミヤキ}の^ミ女^{ミヤキ}の^ミ夏^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}
 吏^{ミヤキ}の^ミ江^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}
 白^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}
 艶^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}角
 夜^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}水^{ホソ}
 法^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}の^ミ丸^{ミヤキ}丸

官造^{ウツ}の虚^{ウツ}乃^ニ近^{ツクミ}の名^ナありけり
 角
 髪^{カミ}斗^ト御冠^{ミツカ}の纓^{エイ}ありけり
 青
 編^ヒぬる翠^{スヅ}簾^シれしありけり
 九
 故^コ園^{エン}今^{イマ}とくを
 水
 蘭^{ラン}腥^シ一^{ヒト}
 青
 凡^ニの月^{ツキ}熱^ネの御^ミ天^{テン}と鎮^{シヅ}めけり
 青
 黄^キある少^{オウ}海^{カイ}り怪^{アヤ}しとあり
 角
 少^{オウ}海^{カイ}り少^{オウ}海^{カイ}り
 水
 竹^{タケ}の枝^エありを精^{セイ}めとあり
 丸

岩^{イワ}彦^{ヒコ}乃^ニ柄^{カバ}と海^{ウミ}くちありけり
 青
 氣^キと奪^{ウバ}れし人のぬけり
 角
 血^チと沸^ワて凡^ニ太^{タイ}刀^{トウ}御^ミ形^{カタ}音^ネ敷^シ
 水
 古^コ習^{シユ}とくつありけり
 丸
 ひくれぬ花^{ハナ}よ夜^ヨありけり
 角
 瓶^{ビン}を酔^{ユイ}めり
 青
 醪^{サカベ}一^{ヒト}入^{イル}ル
 青

餘貞

揚水

附贅イボ一ツ受コあまりり日ノ長

無用乃枝と立一犬蘭 桃青

夜ル自ルの影カ花ハあハかハいハ其角

塵チ裡リの四虫音をカ隠カ才丸

延宝九歳次辛酉庚則下旬

市掾千句集のなほお題に

延宝乃あろ老信徳のふふ七百五十韻を

抄シれハ桃ト喜シ孫ノ二百五十韻を次々あひく

千句ふ満ミるハをカ洛カ乃ハ寺田氏ハ掾ハ

あハりハとハあハてハ世ハふハ他ハくハるハおハ換ハりハ星ハ福ハとハて

今ハちハのハてハばハはハ人ハとハまハれハなりハるハ古ハ風ハの

一ハ辨ハりハ多ハ遠ハりハあハのハ附ハ合ハりハなハりハすハ

すハのハ掾ハはハはハりハあハりハるハもハあハりハあハりハあハりハあハりハ

本州鳴海海邊のほやりの下郷氏を
知是齋子海生ハ其祖を知是とつて
芭蕉翁の形跡の杖杖となく客に
駟と進み莫の逢徳文なりしや
翁の笈おひし書画表をいあき
今もその家小秘翁一傳ふる乃
ちきふふよりて知是齋主人あは
書をふしむ世にむらむるを歎し

六と一書乃とより類ふを刊せし
おひしをそや清書校合子及るなり
すもの何きくき代く知是の号を
傳へるの其表を翻くものを誹諧ふ
遊む世上の變化よりいふことす
祖翁乃控をちか近里隣村社を
むすむ正風一流乃門をきむそのみ
なすは惜く和漢書載籍小抄集

聖徳太子の方をあきらむるはかみ防歌
用自乃すふまありあはれの去万劫ふ
餘りや好むまありあはれ免株汗
牛のたふもむなしくす生涯酒を
あきらむるを好む人屋上客
はれみ濡れと毒青白乃眼あはれ乃
ゆく小まはれ御り懐慨の豪傑
風流の雅人なりおそむるあはれ

親春隣をきくは乃を産あきらむ
き年のまろの業を嗣子に譲り
名は樂山やあきらむるあはれ遊出極乃
あきらむるあはれあはれあはれあはれ
すもあきらむるあはれあはれあはれあはれ
のみあきらむるあはれあはれあはれあはれ
あきらむるあはれあはれあはれあはれ
あきらむるあはれあはれあはれあはれ
あきらむるあはれあはれあはれあはれ

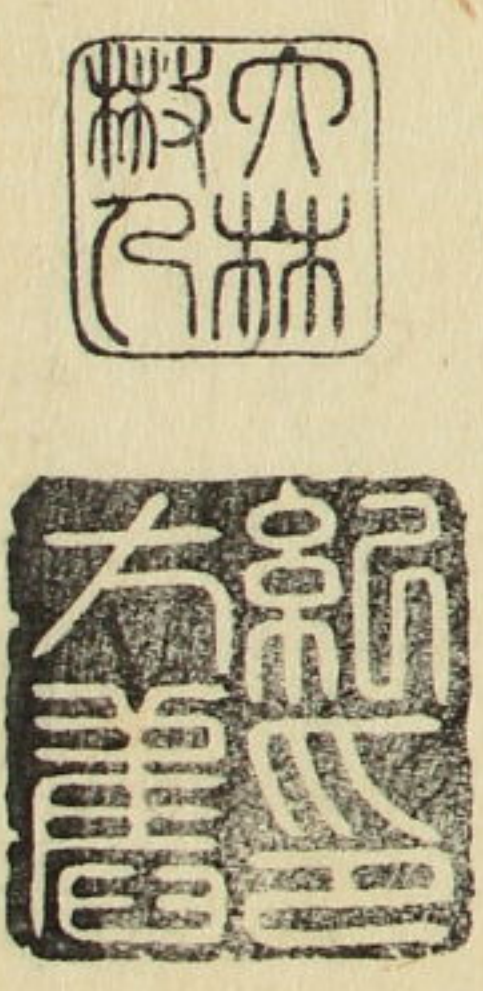
書のあるかゝりなるを少くやめぬ孝子
傳芳生るの志を継ぐやまじ上は
こころをよめて先考の遺教ふあはしむ
その始末を附せし信るるものと
掛を辞すれ毎許さば次潜し思ふ
孝子小代アとて身縁を適す六何
文を飾らむややかこうかしく筆を
とよその末をほひつるそは彼生た

凡縁をよむらるる金とす

寛政二年庚辰夏廿九日

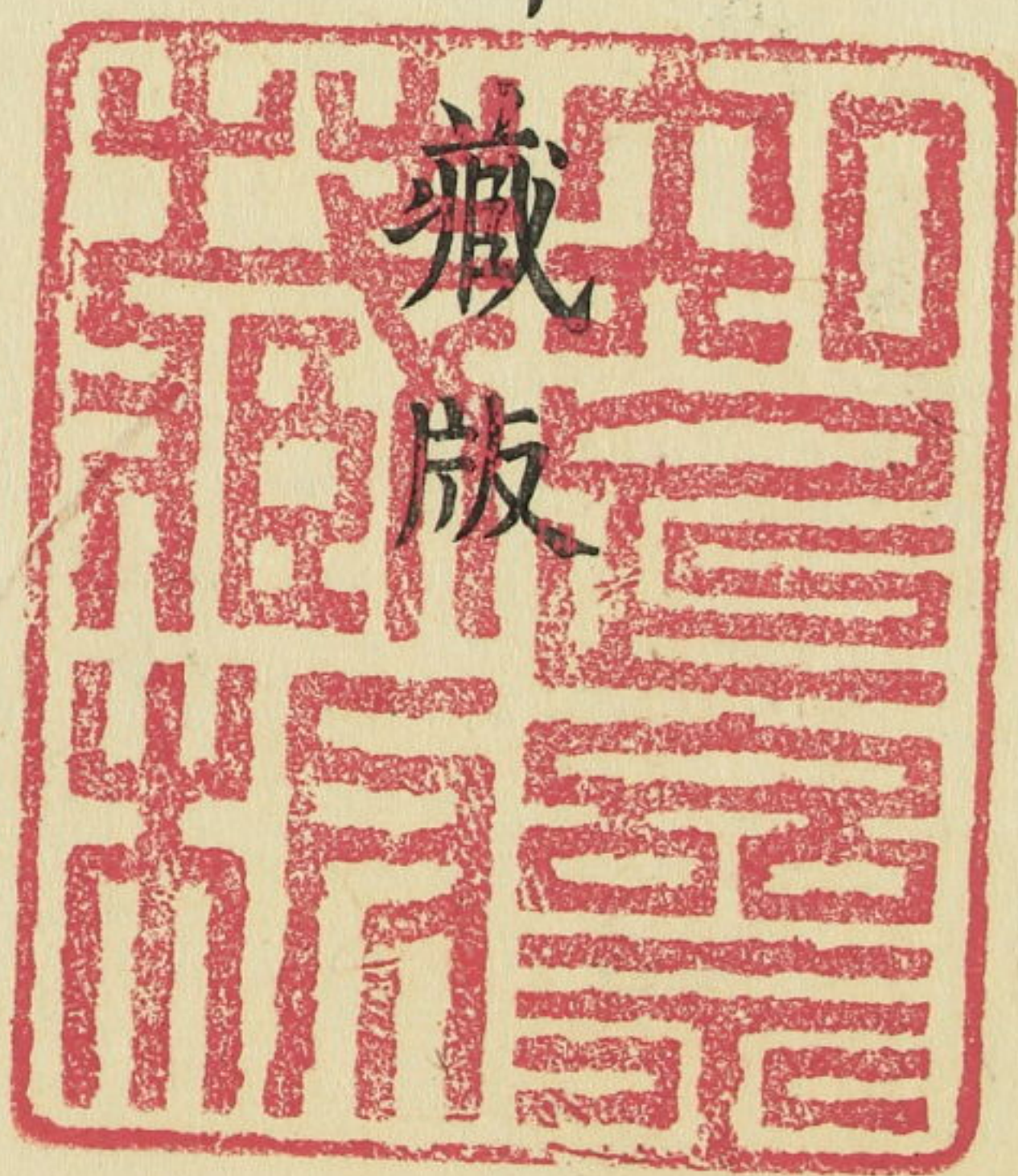
また城南居士半之更

紀六林



知足齋

藏版



寛政三年辛亥春

名古屋書林 片野東四郎

江戸書林 山崎金兵衛

大坂書林 葛城長兵衛

京都書林 梅村宗五郎

